

第26回全港湾青年対策交流集会

私は今回2月21日～23日までの3日間第26回青年対策交流集会に初めて参加させていただきました。まず初めに鈴木委員長からのお話がありました。青対の歴史、青対はなぜ開催されているのかというお話をいただきました。お話を聞き3日間たくさんのお話を吸収し学んでいこうと思いました。

そして、松永書記長から「各協定について」のオルグがありました。協定がなぜ存在しているのか、協定が生まれた歴史などお話いただきました。私は恥ずかしながらこのオルグを聞くまで36協定や産別協定について全く知りませんでした。特に36協定は命と安全を守る協定だということが心に響きました。そして港湾で働くものならみんなが知っておくべきだと思いました。しかし、私も同様ではございますが青年部には協定についてまだまだ知識が無いと思っています。今回松永書記長に教えていただいたことを私が率先して伝えていこうと思います。

2日目は千葉中執から「災害時における港湾従事者について」オルグがありました。体験談や東日本大震災の時の港湾の状況についてお話をいただきました。2年前私の支部が位置します北陸地方でも大きな地震がありました。その時は休みではあったものの実際に港湾業務に従事していた際冷静に行動できていたかと問われたら全く自信がございません。

災害はいつ起きるか分からないものだからこそ仲間を守るため、自分を守るため改めてハザードマップの確認や日頃からの避難訓練の実施など積極的に行っていこうと思います。

2日目にはドッジボール大会もありました。久々の運動ということもありとてもへとへとではありましたがグループの仲間と1勝ではありますが勝つことができ良かったです。

最終日には年間スローガンの発表がありました。スローガンにもあるように人と人のつながりをこの3日間とても感じました。

今回学んだことを支部の仲間に伝え今まで以上に青年部を盛り上げていこうと思います。

3日間このような機会をいただきありがとうございました。

日本海地方敦賀支部 山口 湧